

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 島原地域包括支援センター

1 施設の管理運営

【開所日及び開所時間等】

月～金 午前9時から午後5時まで

休業時間・休業日の緊急時には担当者に連絡できる体制をとっている。

【事業実施地域】

下京区 郁文学区、淳風学区、光徳学区、七条第三学区

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

①地域包括の役割・介護予防サービスについて周知活動を継続して実施している。

②地域ケア会議を開催し、共にネットワーク内で困難ケースを乗り切っていく関係構築が維持できるように努力した。

③郁文・淳風・光徳・七条第三学区の地域福祉員との連携や、要援護高齢者の実態把握に努めている。

④七条第三学区、郁文学区では、介護保険事業所や下京区社会福祉協議会と連携会議を行ったのちに地域ケア会議に出席し各学区での取り組み(居場所作り、小学生対象の認知症啓発等)を行っている。

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

(参考) 自主事業内容

3 サービス提供状況

センター長1名（主任介護支援専門員と兼務）

保健師1名

社会福祉士3名

介護支援専門員 1名 合計6名

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

第三者への委託は行っていない。

5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

3019 人

(2) 相談延べ件数（実績値）

558 件

(3) 収支実績

ア 令和6年度収入状況（単位：円）

委託料	26,633,360
介護保険収入	14,695,240
その他	552,334
収入計	41,880,934

イ 令和6年度支出状況（単位：円）

人件費	27,957,055
事業費	610,368
委託費	5,383,200
小額修繕費	2,310
その他	368,574
支出計	34,321,507

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

令和6年度は利用者アンケートを実施。（2年に一度実施）
健康教室 島原楽楽広場は、年6回を開催。開催終了後に参加者全員の満足度アンケートを実施しニーズの把握を行っている。

(2) 利用者満足度把握の結果

利用者アンケートでは、担当者の対応、要望などを聞き取り概ね満足という結果をいただいた。
健康教室楽楽広場でアンケート実施した結果、リフレッシュ度は90点が多く、その他の感想では、今後も継続して欲しい、毎月開催してほしい等、人と会う機会や介護予防の取り組みは必要という意識の方が多かった。

(3) 意見等への主な対応状況

介護予防推進センターを紹介しており、介護保険外の集いや運動教室を案内した。
参加者同士が交流できる内容であることや、フレイル予防等の役立つ知識をゲスト講師を招いて充実させた。歌いたいという希望には、毎回歌う機会を設けた。

7 評価（指定管理者自己評価）

健康教室島原楽楽広場は、どなたでも参加できるをモットーに開催し、圏域のグループホームの入居者も参加されている。
七条第三小学校や光徳小学校では、三年生を対象に認知症サポーター講座や高齢者の疑似体験を地域の介護サービス事業所や医療関係と協働し実施できた。島原認知症カフェでは、認知症の方でも誰でも参加出来るようにした。カフェでは認知症高齢者がウエイトレス役をしてくださった。
七三学区・郁文学区では介護保険事業所を集めて、地域課題に向けた取り組みを継続している。七三学区では、学区の介護相談窓口の目印や名簿を作成し配布予定。郁文学区内で、4か所ほど居場所づくりに取り組み、障害を理由とする差別解消に向けた取り組みを実践している。